

長野市民病院

ミッション：医療を通して長野市民・地域社会に貢献する



長野市民病院
理事長・病院長 池田 宇一

ごあいさつ



ふれ愛

公衆衛生だより
No.43
平成29年5月1日
発行
地方独立行政法人
長野市民病院
TEL 026-295-1199

平素より、長野市民病院に対するご支援に感謝申し上げます。

本院は、開院以来提供してきた良質で安全な医療を継続・発展させて提供していくために、昨年4月、病院経営の自由度をさらに高め、患者さんの立場に立ったより良い病院づくりができる地方独立行政法人へ移行しました。

本院のミッション（使命）は、「医療を通して市民・地域社会に貢献すること」です。高度で専門的な「がん診療」、断らない「救急医療」に加え、超高齢時代の「脳・心臓・血管診療」を充実させていくと共に、市民の皆さまのニーズにこたえるため予防医療や在宅支援にも力を入れていきます。

「がん診療」は、4月に「がん治療センター」を「がんセンター」に改称し、地域がん診療連携拠点病院として、がんの診断・治療のみならず、予防や研究活動にも力を入れていきます。1月には肝臓・胆のう・膵臓外科、4月には頭頸部外科を新設しました。

「救急医療」は、初期救急診療に対応する「長野市民病院・医師会急病センター」と重症患者・救急車に対応する「救急センター」を設置しています。

昨年、救急専用病床（ECU）を10床開設し、引き続き24時間365日、市民の皆さまが安心して暮らせるための医療を提供していきます。

「脳・心臓・血管診療」は、昨年に「心臓血管センター」と「糖尿病・腎臓センター」を開設し、不整脈のカテーテル治療や最新CT装置導入による血管診療を強化しました。4月には心臓血管外科を新設し、心臓病の外科手術も開始します。「脳卒中センター」は、北信地域で唯一の脳卒中ケアユニット（SCU）を有し、引き続き24時間体制で診療にあたっています。

市民の皆さまの健康増進も本院の重要な役目であり、昨年から隔週で土曜

日ドックを開始し、健診枠を拡大しました。また超高齢社会の進行に合わせ、地域包括ケア病棟と訪問看護ステーションが一体化した地域包括ケアセンターを開設し、入院中から、病院のスタッフと在宅医療に関わるスタッフが緊密に連絡を取り合い、患者さんが退院後も安心して療養できる環境を整えていきます。

これからも、地域の保健・医療・福祉の充実に貢献していきますので、市民の皆さまの病院である長野市民病院へのご支援をよろしくお願いいたします。

裏面もご覧ください

第11回
病院祭

長野市民病院

ふれ愛デー

2017 6/10(土) 9:30～15:00

場所 長野市民病院 申込等は不要です。
ご自由にお越しください。

入場無料

特別講演会 ※対象：小学生以上

シンクロナイズドスイミング
リオ五輪代表 箱山 愛香さん 講演会
14:00～15:00(体育館)

第30回市民健康講座

テーマ「脳卒中」 10:30～11:30(会議室4・5・6)

第1部 講師：長野市民病院 脳卒中センター長 草野 義和
第2部 講師：長野市民病院 リハビリテーション科 作業療法士 丸山 真寛
長野市民病院 栄養科 管理栄養士 春原 ゆかり

- 骨密度測定
- 施設見学ツアー
- セラピードッグとのふれあい体験
- フリーマーケット
- 各種お食事、軽食コーナー ほか
- 脂肪肝チェック
- がん・すまいるサロン
- ふあふあ、ミニSL
- 各種体験コーナー
- 災害救助犬デモンストレーション
- コメディーパーフォーマンスショー
- 長野市農業公社農産物販売

※他にも楽しいイベントや各種体験が盛りだくさん!!

※詳細は後日HPやパンフレットで公開します。

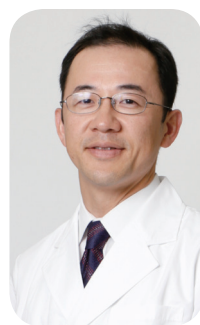
図1 コイル塞栓術イメージ



コイルはプラチナ製の細い糸でき
ており、脳動脈瘤内で糸を巻くよ
うにして丸めながら詰めていきま
す。

◆**新しい脳動脈瘤治療**
カテーテルや内視鏡などを使って
体に行う「低侵襲治療」が多く
の分野で注目されていますが、脳
卒中でも低侵襲治療が行われ
ています。その一つが脳動脈瘤
に対しカテーテルを使って止
めるコイル塞栓術です。破裂
するとも膜下出血を引き起こ
す脳動脈瘤ですが、最近では
脳ドックや頭痛外来などで無
症状のうちに発見される機
会が多くなっています。これ
までは頭の皮膚や頭蓋骨を切
開し、クリッピング術が主流
でしたが、傷の痛みや皮膚の
違和感、頭蓋骨の

知っておきたい ミニ知識



長野市民病院
脳卒中センター
脳血管内治療科部長
草野 義和
くさの よしなり

「脳動脈瘤を“切らずに治す”カテーテル治療」

変形は避けられず、体への負担は
少なくありませんでした。それに
対して最近ではカテーテルを使っ
て治す「コイル塞栓術」が、切
らずに治す治療として注目され
ています。

◆少ない体への負担

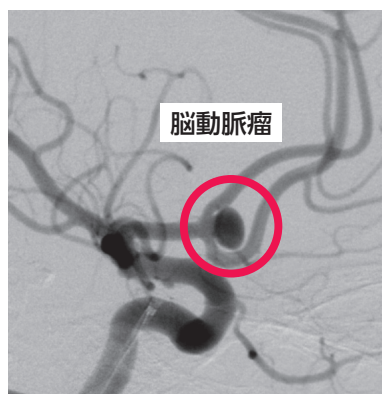
足や手首の動脈から太さ3mm程
度のカテーテルといわれる細い管
を動脈内に通して、レントゲンを
見ながら脳血管まで進めます。そ
こから先は先端の太さが1mmほど
のマイクロカテーテルを脳動脈瘤
の中に進めます。マイクロカテー
テルを通してコイルというプラチ
ナでできた糸を脳動脈瘤の中にゆ
っくりと入れていきます。2本、
3本とコイルを加えることで糸く
ずのようなコイルの塊ができる
と、脳動脈瘤の中に血液が入らな
くなり、破裂の危険がなくなるの
です。(図1・2)

以前は脳動脈瘤の入り口が広い
動脈瘤では、コイルが不安定とな
り治療しづらかったのですが、最
近ではステントという金属の筒を
脳動脈瘤の入り口に置くことで、
様々な形の動脈瘤が治療できる
ようになっていきます。体に切開を
加えないため、治療当日から食
事をしたり、歩いたりすることが
でき、治療後3～4日で退院で
きます。

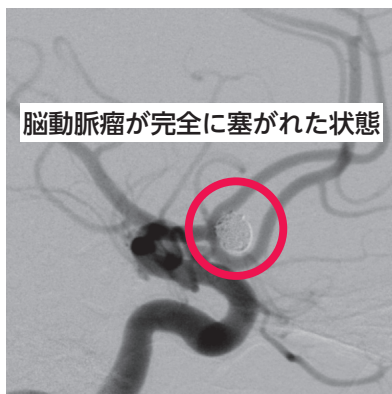
◆まだまだ知られていない

新しい治療ですので再発や長期
的な安全性が心配になるかもしれ

図2 コイル塞栓術前後のレントゲン画像



治療前



コイル塞栓術後

ませんが、くも膜下出血の治療でクリ
ッピング術とコイル塞栓術の治療成績
を比べた国際研究で、コイル塞栓術は
クリッピング術と比べて同等もしくは
優れているという結果が出ています
ので心配はありません。実際に欧米
では7～8割の方がこの方法で治療
されています。一方、長野県ではコ
イル塞栓術での治療が3割にとど
まっています。まだまだ皆さんに知
られていないのが現状です。「治療
結果が一緒なら切らずに済ませたい」
というのが私たちの自然な気持ちだ
と思います。ご自身や身近な方が
動脈瘤の治療を受ける場合には、主
治医に一度相談してみてくださいな
うか。

TOPICS

下肢静脈瘤に対するレーザー治療を開始します



下肢静脈瘤の状態の足

当院は4月に信州大学より中
原孝医師を迎え、心臓血管外科
を開設しました。中原医師は下
肢静脈瘤に対する血管内焼灼術
の指導医であり、当院でも下肢
静脈瘤に対するレーザー焼灼術
を開始します。
下肢静脈瘤とは、足の静脈が
太く浮き出たり、こぶのように
膨らんだりする疾患です。足の
だるさやむくみなどの症状を引
き起こし、QOL(生活の質)
を低下させることもあります。
治療法は、弾性ストッキング
等を着用する圧迫療法その他、外
科治療の一つにレーザー焼灼術
があります。血管内にカテーテ
ルを通し、内側からレーザーを
照射し病変部を焼灼します。切
開をしないため、身体に負担の
少ない治療法として注目されて
います。